

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

54

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				
事務事業名	路線バス運行事業					
予算科目	2 款 1 項 12 目					
予算事業名	交通アクセス対策費					
総合計画での位置づけ	便利な都市環境をつくる					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	矢山 良寛			
事業担当者	安部 憲一郎	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	主に15歳から79歳までの町内在住者(約6,300人)					
事業の目的	久山町の公共交通の中心である、路線バスについては、JR篠栗駅から久原・山田地区を横断する形で福岡市の中心部までを結ぶ路線運行に対し利用者増を目的に、町から事業者に対し補助を行い、住民の福岡市等に対する通勤・通学・通院・買い物等に対する交通アクセスの確保を目指す。					
実施期間	開始年度	平成 10 年度から				
	終了年度	平成 30 年度まで				
事業の内容	西日本鉄道(株)の運行により、JR篠栗駅(隣町)から久山町内を横断する形で福岡市の中心部(天神)まで運行を行っている。運行経費については、JR篠栗駅から名子(約8.2~11km)までの経費について、本町が上記区間内での運行収入を除いた費用を補助する形で実施している。					
目的達成の指標	年間の利用者数(久山町補助負担路線区間 名子~篠栗駅間)					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	人	220,000	230,000	—	—
実績	人	226,393	220,654	—	—	
指標設定の考え方	利用者ニーズに沿った路線バスの運行を行うことで、利用者数は向上し、費用対効果が高まると考えるため					
事業遂行時懸案事項等	住民ニーズを全てを満たしていくには、費用面だけではなく、事業者の運行状況(運転士の確保等)から、厳しい状況となっており、事業の改善には効果的な取り組みを優先する必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	町民の利用者及び普段、公共交通を利用していない方を対象に公共交通に関するアンケートやヒアリングを実施し、使いづらい面や不便な所といった問題点の把握と改善に努める。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,698 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.11	0.10	
	② 人件費単価	7,381	7,350	
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	811	735	
事業費	直接事業費	25,000	26,000	
	人件費	811	735	
	合計	25,811	26,735	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	2,500	2,550	
	地方債			
	その他			
	一般財源	23,311	24,185	
合計	25,811	26,735		

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	25,000	26,000			
実績	26,000	26,000			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
事業者(西鉄)との協議	回	12	12		
(利用者増、コスト削減等)		12	6		
ダイヤ改正(夕方、久山に	便	1	1		
帰りやすくなるよう増便)		1	1		
観光イベント時にアクセス	回	3	3		
手段として印刷物に掲載		3	3		
利用者のニーズ把握調査	回	1	1		
		1	1		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,685 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算	31 年度決算
事務量	① 人工数	0.11	0.10	0.10
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	784	735	718
事業費	直接事業費	25,508	26,000	26,000
	人件費	784	735	718
	合計	26,292	26,735	26,718
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金	2,350	2,550	2,650
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	23,942	24,185	24,068
合計	26,292	26,735	26,718	

実施備忘録

--

自己評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	2	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

当町における公共交通は重要な政策の一部であり、その中のひとつである路線バス事業は、鉄道駅の無い久山町において、住民の移動手段を確保するために大変重要な事業である。

効率性においては、定例で運行事業と協議を行い、利用者増及び運行経費等の観点から協議と検証を行い、効率性を追求している。

ただし、当事業は西鉄バスの運行路線の一部見直しの結果、今年度で終了となるため、今後は町独自で運行するコミュニティバスに関して利便性、効率性等を追及していく必要がある。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

平成30年度の27B全体の利用状況については前年度に比して0.2%の微増と概ね、利用者数は維持している状況である。当初目的の230万人に及ばなかった原因として、平日の利用人数は増えているものの、日祝日の利用者が大幅に減っていることがあげられる。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

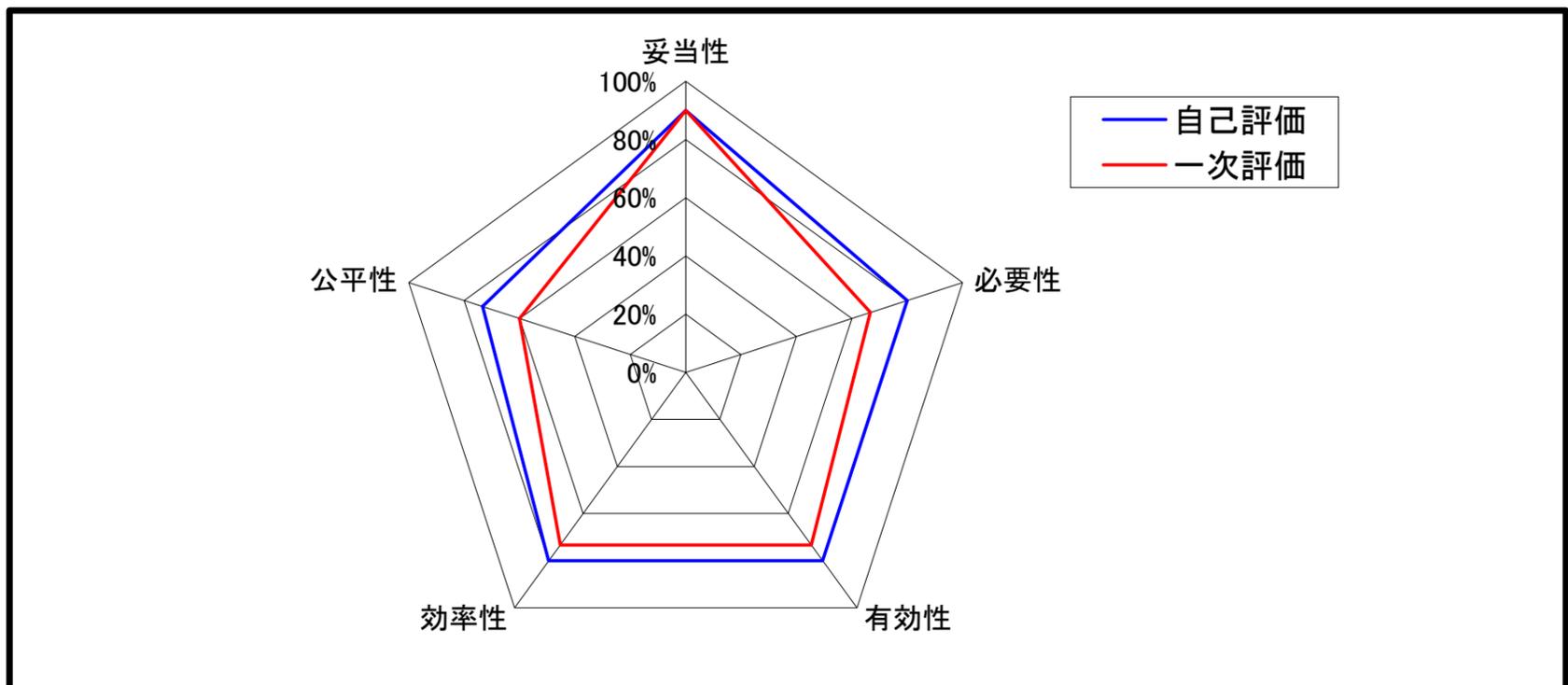
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		C
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

路線バス運行事業については、年々運行経費高騰等により、町の負担金も増加傾向となっている。そのため、長期的に継続可能な公共交通を運行するためには、路線バス(西鉄)に依存するだけでは町民の利便性確保できない。そのため、路線バス運行事業者と町のコミュニティバスの運行形態を包括的に見直しを実施する。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	矢山 良寛
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

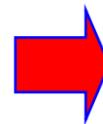
- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

次年度より西鉄による運行から町のコミュニティバスでの運行となるが住民の町外への交通手段の確保は重要であり、住民ニーズを確認しながら運行に努める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

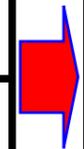
一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
 月 日
 開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--